



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日新
コード番号 9066 URL <http://www.nissin-tw.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 筒井 博

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 石山 知直

TEL 03-3238-6631

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	44,635	2.3	737	△28.7	1,047	△13.3	651	△10.0
25年3月期第1四半期	43,623	1.6	1,034	56.1	1,208	31.8	723	22.4

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,510百万円 (72.3%) 25年3月期第1四半期 876百万円 (31.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	6.60	—
25年3月期第1四半期	7.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	104,472	42,984	40.3
25年3月期	102,236	41,625	39.9

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 42,150百万円 25年3月期 40,830百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	3.50	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	97,000	10.1	2,100	3.6	2,200	3.6	1,400	62.3	14.21
通期	194,000	10.7	4,500	31.5	4,600	29.3	2,800	52.5	28.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	101,363,846 株	25年3月期	101,363,846 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	2,653,196 株	25年3月期	2,797,617 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	98,626,343 株	25年3月期1Q	98,098,627 株

(注) 期末自己株式数には、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式を含んでおります。
(26年3月期1Q 1,245,000株、25年3月期 1,392,000株)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき作成したものであり、リスクや不確定要素を含んでおりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	
(セグメント情報等)	

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当四半期の経営成績

当第 1 四半期連結累計期間（平成25年 4 月 1 日～平成25年6月30日 以下「当第 1 四半期」）における世界経済は、米国経済が緩やかな回復を続ける一方、欧州における債務問題の長期化や中国・アジア新興国での成長率鈍化など、依然、不透明感が拭えませんでした。日本では、昨年末以降は円高の是正、株価の上昇など明るい兆しが見え始めましたが、本格回復までには至りませんでした。

このような状況下、当社グループは、海外23ヶ国に及ぶネットワークと高度なIT対応力を活かしたグローバル・ロジスティクスへの注力を加速させました。海外では、マレーシア、メキシコでの自動車産業向けJIT(ジャストインタイム)納入倉庫の建設をはじめ、東南アジアにおける大メコン圏広域物流網の整備、中国・インドでの事業体制の強化などを進めました。国内においては、CMS（キャッシュマネジメントシステム）の利用拡大によるグループ資金の効率化に取り組みました。

当第 1 四半期は、米州、アジア、中国において、物流事業が引き続き順調に推移し収益に寄与しましたが、日本では、日中関係緊張の影響が残り、物流事業の回復が遅れたほか、旅行事業も伸び悩むなど、収益は落ち込みました。

これらの結果、当第 1 四半期における売上高は、前年同期比2.3%増の44,635百万円となりました。利益につきましては、営業利益は前年同期比28.7%減の737百万円、経常利益は前年同期比13.3%減の1,047百万円となり、四半期純利益は前年同期比10.0%減の651百万円となりました。

② セグメントの業績

イ. 物流事業

日本では、輸出海上貨物は、海外での自動車生産の増産に伴い、北米、アジア向けの自動車関連部品の取扱いは順調でしたが、一方、四輪完成車の取扱いは減少しました。輸入海上貨物は、製材・合板関係や鋼材などの好調な取扱いが続いたほか、アパレル、雑貨、家具の取扱いが底堅く推移するなど、全般的に順調でした。

輸出航空貨物は、アジア向け自動車関連部品の取扱いが好調だった以外は、電子部品・部材をはじめ全般的に低調な取扱いでしたが、業務効率化により収益の落ち込みを補いました。輸入航空貨物は、北米発の青果・生鮮・食品関連や切花の取扱いが堅調に推移しました。国内倉庫・輸送では、関西地区の各倉庫は高水準な稼働を続けたものの、関東地区においては一部倉庫で稼働率の低下が見られました。また、日中貿易減少によりターミナル事業の落ち込みが続いたほか、四輪完成車の内航船業務も低調に終わりました。

海外では、米州においては、自動車関連部品の取扱いが安定的に推移したのをはじめ、メキシコでの工場設備輸入・据付業務が収益に寄与するなど、堅調に推移しました。欧州では、家電関係の取扱いが低迷したことに加え、自動車関連部品の取扱いも落ち込み、事業の再構築に取り組んでおりますが、厳しい状況でした。アジアでは、自動車関連部品を中心に航空・海上輸出入の取扱いがともに順調に推移し、収益が伸長しました。中国では、引き続き電子部品・部材の航空輸出入が堅調に推移したことに加え、自動車関連部品の取扱いが寄与するなど、収益を押し上げました。

この結果、売上高は前年同期比2.1%増の32,503百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比32.6%減の522百万円となりました。

ロ．旅行事業

業務渡航の取扱いが北米、中米を中心に順調だったことに加え、大型団体旅行の取扱いが収益に寄与したものの、日中関係緊張の影響を受け、中国向けについては、業務渡航、団体旅行共に大幅に落ち込みました。

この結果、売上高は前年同期比3.5%増の11,907百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比14.4%減の66百万円となりました。

ハ．不動産事業

横浜地区などで展開する商業ビル、商業用地の不動産賃貸事業は引き続き安定した収益を確保しましたが、駐車場事業は低迷が続きました。

この結果、売上高は前年同期比18.1%減の224百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比19.5%減の144百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間の総資産は、受取手形及び売掛金の増加や新規借入による現金及び預金の増加、投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度に比べ2,235百万円増加の104,472百万円となりました。

負債は、短期借入金金の増加や流動負債その他の増加などにより、前連結会計年度に比べ876百万円増加の61,488百万円となりました。

純資産は、株式市場価額の上昇に伴うその他有価証券評価差額金の増加や為替換算調整勘定の増加、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度に比べ1,359百万円増加の42,984百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月8日発表の第2四半期連結累計期間・通期連結業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

一部の連結子会社は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成25年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,929	12,688
受取手形及び売掛金	24,557	25,334
有価証券	87	87
原材料及び貯蔵品	66	66
その他	4,704	4,955
貸倒引当金	△235	△237
流動資産合計	41,109	42,893
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	49,708	50,017
減価償却累計額	△31,939	△32,421
建物及び構築物（純額）	17,768	17,595
機械装置及び運搬具	11,699	11,934
減価償却累計額	△9,183	△9,386
機械装置及び運搬具（純額）	2,515	2,548
土地	16,573	16,677
その他	3,915	3,987
減価償却累計額	△2,543	△2,614
その他（純額）	1,371	1,373
有形固定資産合計	38,229	38,195
無形固定資産		
のれん	630	565
その他	1,971	1,928
無形固定資産合計	2,601	2,494
投資その他の資産		
投資有価証券	14,185	14,708
その他	6,826	6,888
貸倒引当金	△569	△559
投資損失引当金	△147	△147
投資その他の資産合計	20,295	20,889
固定資産合計	61,126	61,579
資産合計	102,236	104,472

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成25年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,180	10,990
短期借入金	11,965	13,161
1年内償還予定の社債	700	700
未払法人税等	510	338
賞与引当金	1,587	998
役員賞与引当金	—	5
その他	6,405	7,449
流動負債合計	32,348	33,643
固定負債		
社債	1,100	1,100
長期借入金	20,171	19,725
退職給付引当金	1,290	1,323
役員退職慰労引当金	131	103
その他	5,568	5,591
固定負債合計	28,262	27,844
負債合計	60,611	61,488
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,097	6,097
資本剰余金	4,365	4,374
利益剰余金	29,479	29,952
自己株式	△590	△560
株主資本合計	39,351	39,863
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,334	3,495
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△1,855	△1,207
その他の包括利益累計額合計	1,478	2,287
少数株主持分	794	834
純資産合計	41,625	42,984
負債純資産合計	102,236	104,472

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
売上高	43,623	44,635
売上原価	36,822	37,837
売上総利益	6,800	6,797
販売費及び一般管理費	5,766	6,059
営業利益	1,034	737
営業外収益		
受取利息	9	18
受取配当金	126	146
持分法による投資利益	53	74
為替差益	65	87
その他	64	101
営業外収益合計	319	428
営業外費用		
支払利息	123	113
その他	21	4
営業外費用合計	144	118
経常利益	1,208	1,047
特別利益		
固定資産売却益	—	4
特別利益合計	—	4
特別損失		
投資有価証券評価損	92	10
固定資産除却損	4	2
特別損失合計	96	12
税金等調整前四半期純利益	1,111	1,039
法人税、住民税及び事業税	133	187
法人税等調整額	220	166
法人税等合計	353	354
少数株主損益調整前四半期純利益	758	684
少数株主利益	34	33
四半期純利益	723	651

四半期連結包括利益計算書
第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	758	684
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△454	161
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	539	620
持分法適用会社に対する持分相当額	32	43
その他の包括利益合計	117	825
四半期包括利益	876	1,510
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	836	1,459
少数株主に係る四半期包括利益	39	50

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

Ⅰ 前第 1 四半期連結累計期間（自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注 1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注 2)
	物流事業	旅行事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,843	11,505	274	43,623	—	43,623
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	42	129	177	△177	—
計	31,849	11,547	404	43,801	△177	43,623
セグメント利益	775	77	179	1,032	2	1,034

(注) 1. セグメント利益の調整額 2 百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第 1 四半期連結累計期間（自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注 1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注 2)
	物流事業	旅行事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,503	11,907	224	44,635	—	44,635
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	43	88	135	△135	—
計	32,507	11,950	313	44,770	△135	44,635
セグメント利益	522	66	144	732	4	737

(注) 1. セグメント利益の調整額 4 百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。